

第2部

埼玉県合同輸血療法委員会報告

座長：山口 敦司 先生 自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

報告1 埼玉県合同輸血療法委員会の活動報告

演者：石田 明 埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植部

スライド1

令和5年3月4日
第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

第14回 埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血療法委員会の活動報告

埼玉県合同輸血療法委員会
埼玉医科大学国際医療センター
石田 明

スライド2

第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

埼玉県合同輸血療法委員会の活動報告

スライド3

第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

- ・適正使用推進小委員会
輸血療法委員会と適正使用に関する現状調査を開始いたしました。
- ・地域輸血支援小委員会
懇談会や意見交換といった企画を計画中です。
- ・輸血業務検討小委員会 検査技師部会
中規模医療機関の廃棄血削減に向けて活動してきました！
- ・輸血業務検討小委員会 看護師部会
2年ぶりにオンラインセミナーを開催することができました！
- ・自己血輸血小委員会
自己血Q&Aが遂に完成いたしました！

現在、5つの小委員会が活動しています。
活動内容について順を追って説明します。

まず適正使用推進委員会では、輸血療法委員会適正使用に関する現状調査を今年度から開始しました。

地域輸血支援小委員会では、懇談会や意見交換といった企画を現在計画しています。

それから輸血業務検討小委員会では、検査技師部会で中規模医療機関に焦点を当てた廃棄血削減について細かく活動してきました。

また、看護師部会では2年ぶりにオンラインセミナーを開催することができました。

自己血輸血小委員会では自己血Q & A ついに

完成し、先ほどの看護師向け教育セッションでもお話いたしました。

下の三つはいろいろ結果報告がありますので後ほど報告してもらおうこととして、最初の二つは私の方で簡単にお話させていただきます。

スライド 4

第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

- **適正使用推進小委員会**
輸血療法委員会と適正使用に関する現状調査を開始しました。
- **地域輸血支援小委員会**
懇談会や意見交換といった企画を計画中です。
- **輸血業務検討小委員会 検査技師部会**
中規模医療機関の廃棄血削減に向けて活動しました！
- **輸血業務検討小委員会 看護師部会**
2年ぶりにオンラインセミナーを開催しました！
- **自己血輸血小委員会**
自己血Q&Aが遂に完成しました！

報告 2 適正使用推進小委員会からの報告

演者：石田 明 埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植部

スライド 5

第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

適正使用推進小委員会からの報告

す。

実際に輸血療法委員会のある医療機関は多いのではないかと思います。

しかし、定型的なものがある訳ではないので、委員会の形式はさまざまではないかと想像します。

他の医療機関でどのような委員会活動が行われているか知りたいという方も多いのではないのでしょうか。来年のフォーラムでは、その調査結果について詳しいお話をさせていただくことができると思います。

スライド 6

第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

医療機関内における輸血療法委員会の活動実態に関する調査

背景 厚生労働省が作成した「輸血療法の実施に関する指針」には、輸血療法を行う医療機関内に輸血療法委員会を設置し、輸血療法の適応、血液製剤の選択、輸血用血液の検査項目・検査術式の選択と精度管理、輸血実施時の手続き、血液の使用状況調査、症例検討を含む適正使用推進の方法、輸血療法に伴う事故・副作用、合併症の把握方法と対策、輸血関連情報の伝達方法、院内採血の基準や自己血輸血の実施方法について検討することが求められている。また行政における血液製剤の適正使用推進強化策として、各施設の輸血療法委員会設置を推進している。

目的 県内各医療機関内の輸血療法委員会の活動の実態を把握すること

対象 輸血を行っている埼玉県内の医療機関

方法 調査票の記載を依頼し集計する
興味深い活動が行われている施設に追加調査を行う

スライド 7

第14回埼玉輸血フォーラム
埼玉県合同輸血委員会報告

来年度の計画（案）

FFP使用適正化に向けて

- 非手術患者 非手術患者のFFP輸血基準の検討

RBC使用適正化に向けて

- 慢性貧血患者 慢性貧血患者のRBC輸血基準の検討
- 周術期患者 周術期患者のRBC輸血に関する実態調査

まず、適正使用推進小委員会からの報告ですけれども、医療機関における輸血療法委員会の活動実態に関する調査を開始しています。

厚生労働省では各医療機関内に輸血療法委員会のような輸血を検討する場を設けることを推奨しており、特に適正使用の推進の強化を求めています。

これに加えて、現在検討中であるのは、非手術患者の FFP 輸血規準の検討、それから慢性貧血患者の RBC 輸血規準の検討、それから周術期患者の RBC 輸血に関する実態調査です。